

仕 様 書

令和元年度訪日外国人旅行者周遊促進事業
「モデルコース紹介インフルエンサー招聘事業」

1. 事業の件名

モデルコース紹介インフルエンサー招聘事業

【実施主体】

(一社) 関東観光広域連携事業推進協議会 (以下、協議会)

【連携先】

京成電鉄株式会社・西武鉄道株式会社・東武鉄道株式会社

【対象地域】

千葉県、東京都、埼玉県、栃木県

2. 事業の概要

(1) 事業の目的

成田空港から秩父、鬼怒川・日光、成田・都内方面へのお得で便利なアクセスについて更に認知度を上げるため連携鉄道事業者の企画乗車券 (京成スカイライナー&東京サブウェイチケット、下町日和キップ、NIKKO PASS all area、MOOMINVALLEY Ticket&TravelPass) を利用し「千葉県、東京都・埼玉県、栃木県」への FIT 向け周遊ルートの周知を目的に、協議会の重要市場である欧米豪 (フランス) 及び東南アジア (タイ) のインフルエンサーを招聘し、自国メディア等での紹介し、当該地域の認知度向上と誘客促進を図ることを目的とする。

(2) 企画募集内容 (事業内容)

インフルエンサー招請事業 (事業規模: 298万円程度)

【対象市場】 東南アジア (タイ)、欧米豪 (フランス)

【誘客ターゲット】 東南アジア (タイ)、欧米豪 (フランス) とともに F I T

【対 象 者】

インフルエンサー 2名 (東南アジア (タイ) 1名/欧米豪 (フランス) 1名)

【実施時期】

令和元年9月～令和2年2月予定 5泊6日程度

【企画提案内容 (業務内容)】

① 招請するインフルエンサーの選定及び調整

◆ インフルエンサーの選定及び調整における留意事項

- ・ 誘客ターゲットに訴求力のある者から選定すること。なお、選定に当たっては実績等が確認できる資料 (当該インフルエンサーのブログ (1記事あたりの平均 PV 数) や FB のアクセス数等) を示した上、各メディアにおける露出ボリュームもあわせて示すこと。

≪ 招請者のイメージ ≫

- ・ インフルエンサーは、その発言が対象市場で信頼される人物であり、ブログや SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) などのソーシャルメディア、口コミサイトにおいて、情報の中心的な存在であり、カリスマ的な人気を博す者が望ましい。
- ・ 「Japan. Endless Discovery.」 のロゴ、キャッチフレーズ等を掲載できること。

- ・事業終了後において、定量データ〔媒体接触者数等（購読者数及びアクセス数等）〕の報告が可能であること。
- ・招請したインフルエンサーとの企画乗車券等のタイアップが可能であれば、その旨の提案内容も含めること。
- ◆選定については、協議会及び連携先と協議し承認を得ること。
- ◆招聘時期の日程を調整し、②で企画を求める招・取材コースの全工程に参加が可能なことを確認すること。

②取材コースの企画・調整（別紙 1 参照）

【取材コース企画の留意事項】

- ◆別紙 1 に記載した主要視察地をできる限りコースの工程に組み込むこと。
- ◆平成 30 年度訪日外国人周遊促進事業「モデルコース紹介ツール作成事業」で制作したパンフレットを参照の上、取材コースを設定すること。
 なお、今年度、前年度制作した上記「モデルコース紹介ツール作成事業」をブラッシュアップする予定であり、完成次第提供することとする。リバイス版とも連携したコースを企画すること。
 平成 30 年度事業で作成したパンフレットについては、提案書の作成に必要な場合は協議会より提供するので申し出ること。
- ◆設定するコースは「京成スカイライナー&東京サブウェイチケット、下町日和キップ」、「NIKKO PASS all area」、「MOOMINVALLEY Ticket&TravelPass」等の企画乗車券を活用するものとし、活用しない場合においても当該乗車券の利便性等長所を招聘者へ教示すること。
- ◆事業目的を踏まえた取材コースの提案をすること。その際、招聘するメディア及び誘客ターゲットの特性やニーズを考慮すること。
- ◆招聘するメディア等において、どのように露出・紹介されることが誘客ターゲットへ向けて訴求できるかを考慮し、掲載内容について想定した上で、その内容を実現させるための取材工程も併せて提案すること。
- ◆提案した招聘・取材コースの中での各視察施設・スポット等について選定理由をそれぞれ具体的に明記すること。
- ◆提案した招聘・取材コースに基づき、最終的な実施コースの調整については、招聘者の訪日経験・消費者ニーズ等を踏まえた上でヒアリングを行い、どのような情報が必要かを調査し招聘・取材コースに反映させること。
- ◆招聘者に対してはコース参加前の情報提供及び事業後のフォローアップを各言語で行うこと。なお、必要な情報は協議会及び連携先と調整すること。
- ◆下記の事項について連携先と調整をすること。
 - ・ヒアリング及び調査等の結果内容
 - ・招聘者に提供する情報
 - ・コース設定や協力体制
- ◆招聘・取材コースの最終決定は、協議会及び連携先の承認を得ること。

【招聘・取材コース調整の留意事項】

- ◆取材期間中は、SNS 等による取材内容等の情報発信が常時可能な Wi-Fi 環境を整えておくこと。
- ◆連携先へのヒアリング及びインフルエンサーの出稿する内容の管理を徹底すること。
- ◆招聘・取材に係る交通の手配をすること（航空及び日本国内全般）。（別紙 1 参照）
- ◆招聘・取材に係る全行程の宿泊・食事の手配をすること。（別紙 1 参照）

- ◆宿泊施設は1室1名とし、インターネット環境が整備された施設とすること。
- ◆招聘・取材に係る行程のアテンド・同行者・通訳を手配し（別紙1参照）、それぞれ下記の事項に留意すること

《アテンド・通訳》

- ・通訳の業務を兼任する場合は、双方の業務に支障のないことを条件とすること。
- ・行程上で使用する乗車券、施設等の内容をよく理解すること。
- ・全行程を通して同行するしかつ、同一人物とすること。
- ・東南アジア（タイ）、欧米豪（フランス）それぞれ1名手配すること。

《添乗・同行者》

- ・招聘・取材に係る全行程の実施の記録とそのための全行程における添乗（同行者）を手配すること（別紙1参照）

③アンケートの作成・配付・実施・回収（督促を含む）・集計・分析及び翻訳（別紙2参照）

- ◆アンケート内容は、今後の訪日観光客増加に向けた検討材料となるようなものとし、協議会及び連携先の確認・承認を受けて実施すること。
- ◆集計・分析を行った結果については、招聘事業実施後速やかに回収・集計・分析及び翻訳を行い、結果を協議会及び連携先に適宜報告すること。また集計及び分析結果を効果測定書に記載すること。
- ◆想定するアンケート項目について別紙2を参考に作成し、企画提案書に記載すること。

（3）その他留意事項

- ①事業において、運営、管理、庶務を行うこと。
- ②事業の実施記録については、カメラ等を用いて記録を行うこと。
- ③関東運輸局及び連携先との連絡調整等を密に行うこと。
- ④本事業は、協議会及び連携先と十分に協議を行いながら事業を進めることとし、作業内容及び本仕様書の内容に疑義が生じたときには、その都度当協議会及び連携先と協議の上、その指示に従い作業を進めること。また、当協議会及び連携先は、作業期間中いつでもその作業状況の報告（報告書の作成を含む）を求めることができるものとする。なお、本仕様書に定めのない事項については、その都度協議の上対応するものとする。
- ⑤本業務で発生した制作物等の著作権は協議会及び連携先に帰属する。
- ⑥成果物に重大な瑕疵があった場合は、原因者において、回収、修正、再印刷等必要な措置を講じること。
- ⑦本業務で取り扱うこととなる個人情報の管理は適正に実施すること。

3 効果測定及び成果物

（1）効果測定の実施

- ①アンケート調査の企画、運営、集計及び分析の実施
- ②事業実施後における効果測定方法の提案及び実施
（事業実施後における招請メディアへのアクセス数、メディア等掲載紙面からの広告換算額算定、）
- ◆本事業の目標成果は招請メディア（SNS 含む）における掲載本数40本以上、媒体接触者数400,000人以上とする。

（2）成果物の作成

- ①提出物

◆本事業実施報告書

(一社) 関東観光広域連携事業推進協議会 2部 連携先 8部 合計 10部

◆本事業効果測定書

(一社) 関東観光広域連携事業推進協議会 2部 連携先 8部 合計 10部

◆本事業実施報告書／効果測定書電子データ

(報告書及び効果測定書を記録した電子データ)

(一社) 関東観光広域連携事業推進協議会 2式 連携先 8式 合計 10式

(電子媒体は CD 又は DVD とし、Microsoft Word、Microsoft Excel、Power Point において編集可能ないずれかのファイル形式及び PDF 形式の両方で保存するものとする。)

◆電子データとしては、本編の他に分けて事業の概要を簡潔にまとめた A 4 判カラー 1 枚を作成すること。また、上記電子媒体に格納すること。

・報告書の用紙は、グリーン購入法に適合したものを使用すること。

◆報告書等の作成にあたっては、事前に監督職員の承認を受けること。

②提出期限

本事業実施報告書・・・令和2年2月28日(木)

本事業効果測定書・・・令和2年2月28日(木)

本事業実施報告書／効果測定書電子データ・・・令和元年2月28日(木)

③提出先

神奈川県横浜市港北区新横浜2-13-4 神交共ビル

(一社) 関東観光広域連携事業推進協議会

(6) 監督職員

(一社) 関東観光広域連携事業推進協議会 事務局次長 鈴木 伸一

インフルエンサー招請事業

日付	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目
出入国	入 国	—	—	—	—	出 国
招請・取材 コース	一部実施	○	○	○	○	一部実施
その他用務	視察概要 レクチャー	—	—	—	—	—
視察地	仕様書の留意点等を踏まえるとともにコース設定にあたっては下記の視察先を組み込むこと。 【主要視察先】 成田空港 TIC・京成スカイライナー・東武浅草 TIC、東武リバティ（東武スペース）・日光東照宮・東武ワールドスクエア・明智平ロープウェイ・中禅寺湖（遊覧船）・イタリア大使館別荘・英国大使館別荘、西武池袋 TIC・西武 Laview・秩父市内（西武秩父駅前温泉祭りの湯など）・飯能メッツァ、ムーミンバレーパーク、川越蔵造りの街並み、京成上野駅、アメ横、上野公園、谷中銀座、日暮里駅、町屋、東京中央卸売市場足立市場、堀切菖蒲園、柴又（帝釈天、参道）、四ツ木、立石、押上、橘キラキラ商店街					
宿泊地	設定したコースにあわせ宿泊地を決定すること （栃木 1 泊（日光金谷ホテルもしくは中禅寺金谷ホテル・埼玉 1 泊以上）					
添乗（同行者） （アテンド）	入国から	○	○	○	○	出国まで
事業実施記録	○	○	○	○	○	○
通訳手配	入国から	○	○	○	○	出国まで
	全行程において、その実施につき、滞りのない運営ができる体制を構築できるだけ、招請者の人数に対する通訳の人数を確保すること。（東南アジア及び欧米豪の招請者毎に通訳を配置すること。）					
食事手配	入国から	○	○	○	○	出国まで
宿泊手配	○	○	○	○	○	—
国際航空手配	○	—	—	—	—	○
国内交通手配	入国から	○	○	○	○	出国まで

○アンケート作成・集計要領

1. 以下に掲げる項目については、必ず設問に含めること。
 - ・各視察先（宿泊施設・食事先・交通機関・意見交換会等含む）について、3段階評価（良い・普通・悪い）及び自由記載のコメント
 - ・ファムトリップ全体について、3段階評価（良い・普通・悪い）及び自由記載のコメント
 - ・ファムトリップで紹介した観光資源のなかで、招請者が“自国の観光客に紹介したいと思うもの”“ネガティブな印象をもったもの”それぞれの名称及びその理由
 - ・ファムトリップで紹介したエリアを効果的にプロモーションするための助言、その他気づいた点（自由記載）
 - ・今後取材をしたい日本のエリア・施設・テーマと、その理由
 - ・ファムトリップに参加しやすい時期
2. アンケート結果を集計し効果測定書に掲載する際、3段階評価についてはグラフ形式で示すこと。